

CORONA

取扱説明書

お客様へ

本製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定される特定保守製品です。

法定点検を受けるために所有者登録を行ってください。
（製品に同梱した「所有者票」に記入し投函願います。）

コロナ石油小形給湯機

ユーアイビー エヌエックス ピー
UIB-NX37P

(A. S. S2. F. FF. AD. SD. FD.)
(FK. FDK. M. MS. MD. MSD)

ユーアイビー エヌエックス ピー
UIB-NX46P

(A. S. S2. F. FF. AD. SD. FD.)
(FK. FDK. MS. MD. MSD)

コロナ高圧力型石油小形給湯機

ユーアイビー エヌエックス エイチピー
UIB-NX46HP

(SD. FD. MD. MSD.)

このたびはコロナ製品をお買い上げくださいましてありがとうございました。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
まちがった取扱いは思わぬ事故や故障の原因となります。

お読みになった後も、取扱説明書は、保証書・工事説明書と共に大切に保存してください。

⚠ 警告



KEROSENE ONLY

ガソリン使用禁止
使用燃料：灯油

もくじ

1	特に注意していただきたいこと （安全のために必ずお守りください）	1～2
2	各部の名称	3～5
	■ 外観図	3
	■ 構造図	3～4
	■ リモコン	5
3	使用前の準備	5～6
	■ 燃料	5
	■ 給油	5
	■ 運転開始前の準備と確認	6
4	使用方法	7～10
	■ はじめてお使いになる場合	7
	■ 使用方法	7～8
	■ 凍結予防	8～10
	■ 使用上の注意	10
	■ 長期間使用しないとき	10
5	安全装置	11
6	その他の装置	11
7	点検・手入れ	12～13
	■ 日常の点検・手入れ	12～13
	■ 定期点検	13
8	故障・異常の見分け方と処置方法	14～15
9	部品交換のしかた	16
10	仕様	16～18
11	アフターサービス	19
12	据付け	20～21

- 本品は一般家庭の給湯以外の目的（例えば業務用の使用・給湯以外の使用・車両・船舶への搭載）に使用しないでください。
- 飲用又は調理に用いないでください。



株式会社 **コロナ**

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中で使われる
図記号の意味は次の
とおりです。

図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味
	ガソリン禁止		一般的な禁止		感電注意
	接触禁止		電源プラグを抜く		高温注意
	分解禁止		必ず行う		アース工事実施

警告 (WARNING)

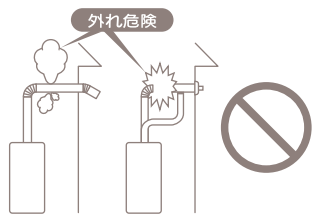
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



排気筒・給排気筒(管、ホース) 外れ危険

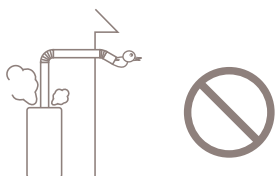
排気筒、給排気筒(管、ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



(該当機種 屋内用 F・FK・FF・FD・FDK)

排気筒の閉そく危険

排気筒がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



(該当機種 屋内用 F・FK・FD・FDK)

給排気筒トップには金網などは付けない

給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があります危険です。



(該当機種 FF)

給排気筒トップ閉そく危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

(該当機種 FF)



注意 (CAUTION)

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。



分解修理・改造の禁止

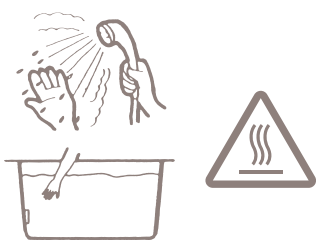
故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。



⚠️ 注意 (CAUTION)

高温注意

- シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- 入浴するときは、手で湯温を確かめてください。やけどのおそれがあります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。（また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。）火災の原因になります。ぬれた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（及び金属物）を除去してください。（ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり）火災の原因になります。



異常時使用禁止

万一異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



ぬれた手でさわらない

電源プラグをぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。



囲い禁止

機器や排気口（吹出口）を波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。
（該当機種 屋外用 A・S・S2・AD・SD・M・MS・MD・MSD）



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。



標高が1,500mを超える高地では使用しないでください。

（空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。）



アースについて

専用のアース（線）を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。アース（線）は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース（線）には絶対に接続しないでください。



送油経路の油もれ確認

油タンクや送油管の接合部などから油もれがないか確認してください。火災の原因になります。



変質灯油禁止

変質灯油（ひと夏持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など）を使用しないでください。機器の故障の原因になります。



お願い (NOTICE)

凍結に注意

冬期は温かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、水もれや故障の原因になります。

使用用途について

給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

2 各部の名称

外観図

■屋外用開放形

■屋内外用半密閉式強制排気形

UIB-NX37P (A) (S) (S2) (F) (AD) (SD) (FD)

UIB-NX46P (A) (S) (S2) (F) (AD) (SD) (FD)

■屋内用半密閉式強制排気形

UIB-NX37P (FK) (FDK)

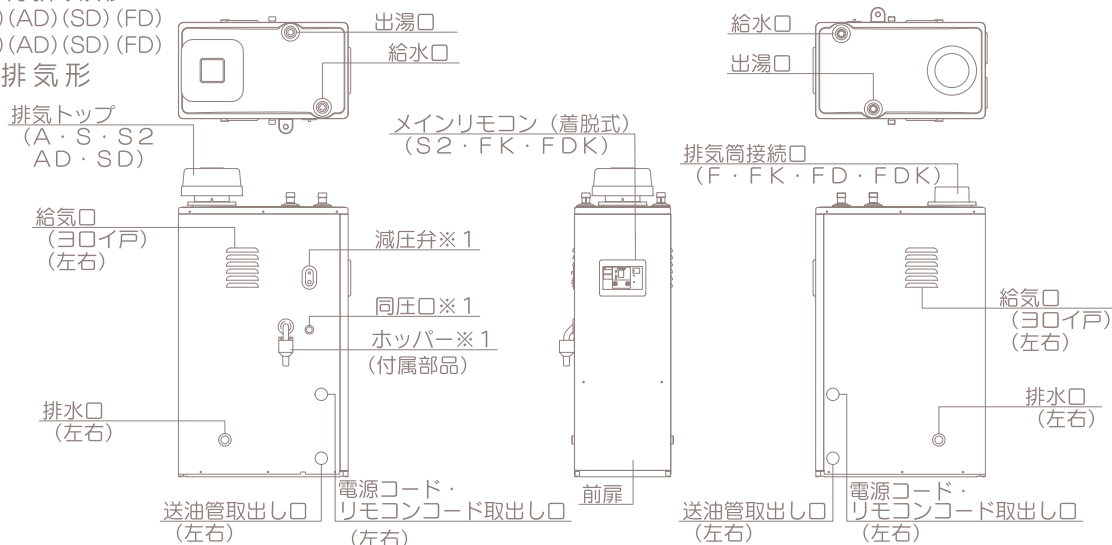
UIB-NX46P (FK) (FDK)

UIB-NX46HP (FD)

■屋外用開放形

UIB-NX46HP (SD)

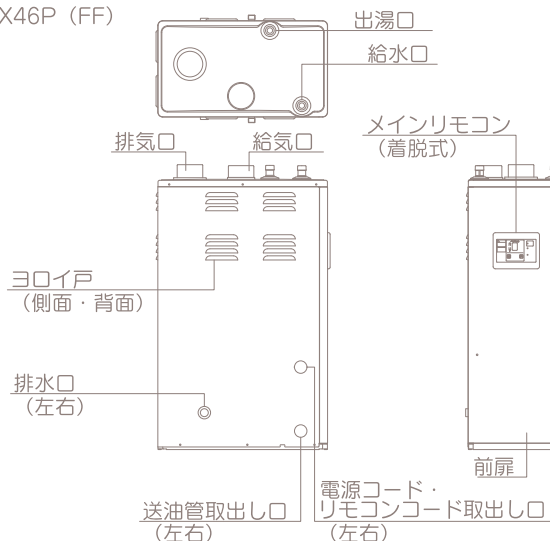
※1 (AD) (FD)
(FDK) (SD) のみ



■屋内用密閉式強制給排気形

UIB-NX37P (FF)

UIB-NX46P (FF)



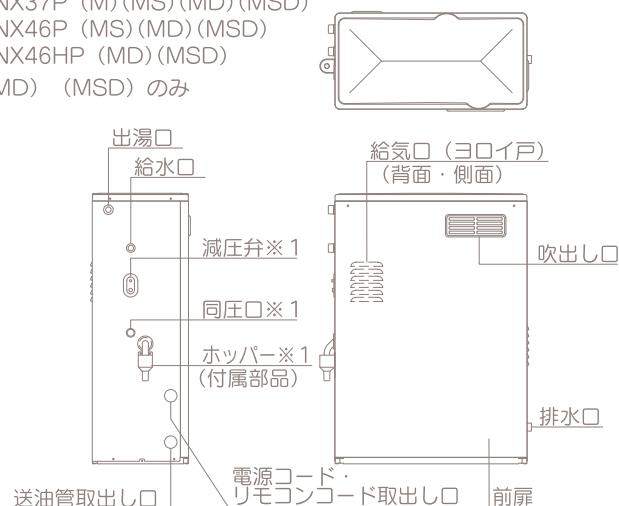
■屋外用開放形

UIB-NX37P (M) (MS) (MD) (MSD)

UIB-NX46P (MS) (MD) (MSD)

UIB-NX46HP (MD) (MSD)

※1 (MD) (MSD) のみ



構造図

■屋外用開放形

■屋内外用半密閉式強制排気形

UIB-NX37P (A) (S) (S2) (F) (AD) (SD) (FD)

UIB-NX46P (A) (S) (S2) (F) (AD) (SD) (FD)

■屋内用半密閉式強制排気形

UIB-NX37P (FK) (FDK)

UIB-NX46P (FK) (FDK)

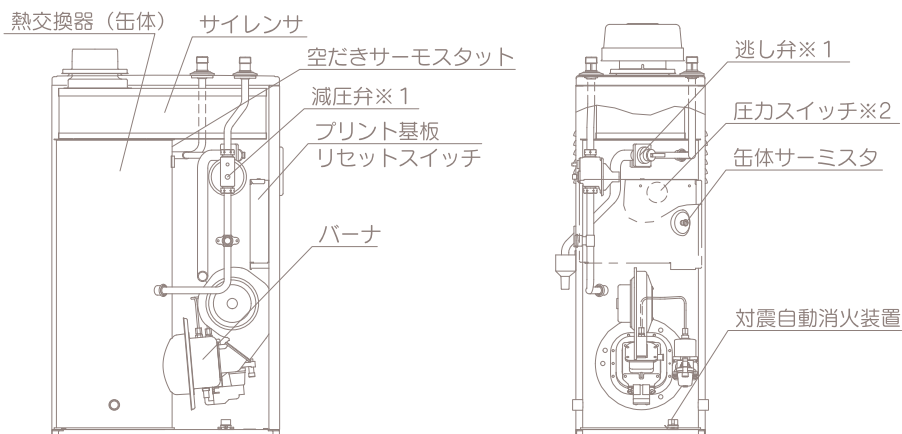
UIB-NX46HP (FD)

■屋外用開放形

UIB-NX46HP (SD)

※1 (AD) (FD) (FDK) (SD) のみ

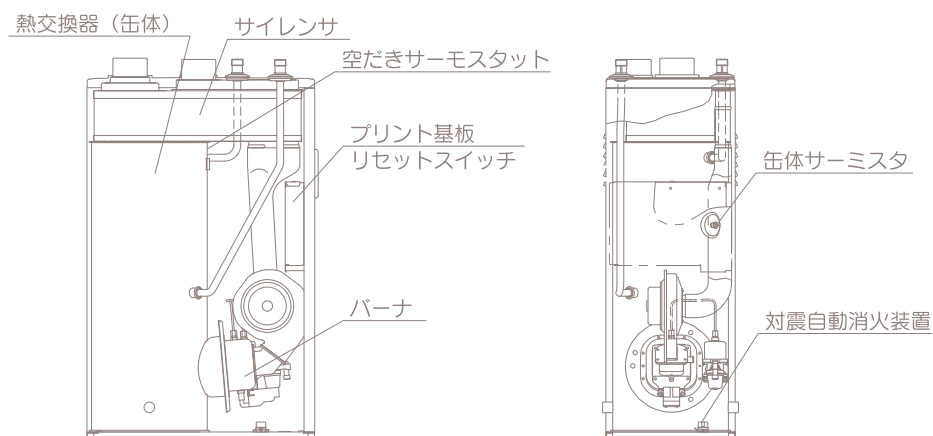
※2 UIB-NX46HPのみ



構造図

■ 屋内用密閉式強制給排気形

UIB-NX37P (FF)
UIB-NX46P (FF)

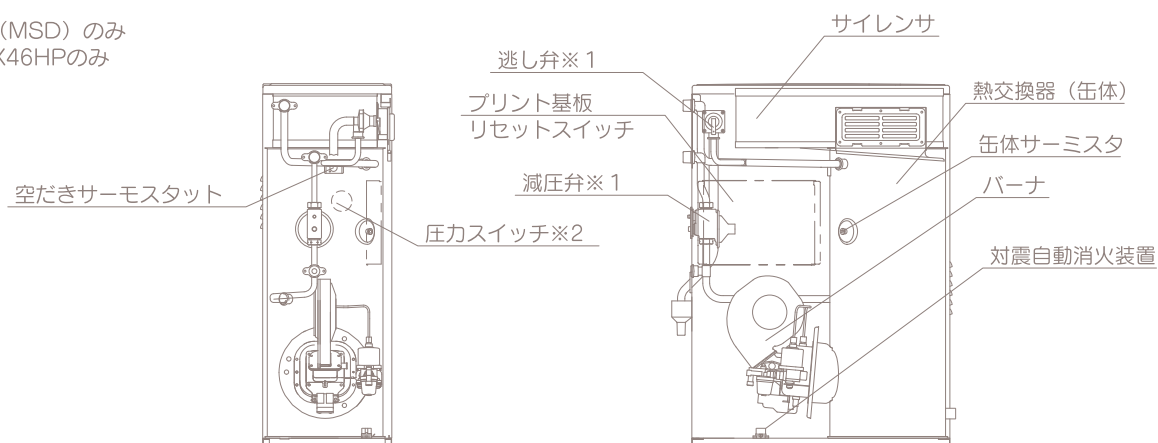


■ 屋外用開放形

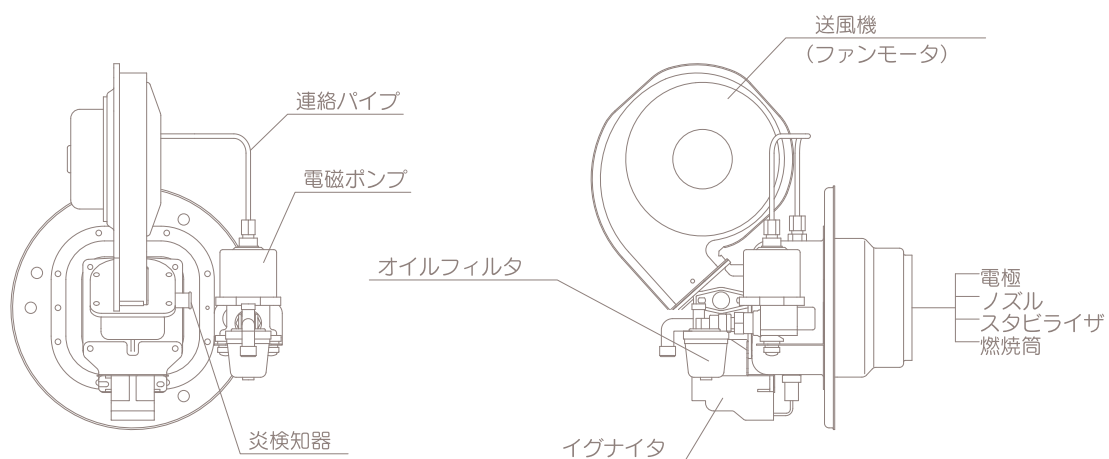
UIB-NX37P (M) (MS) (MD) (MSD)
UIB-NX46P (MS) (MD) (MSD)
UIB-NX46HP (MD) (MSD)

※1 (MD) (MSD) のみ

※2 UIB-NX46HPのみ

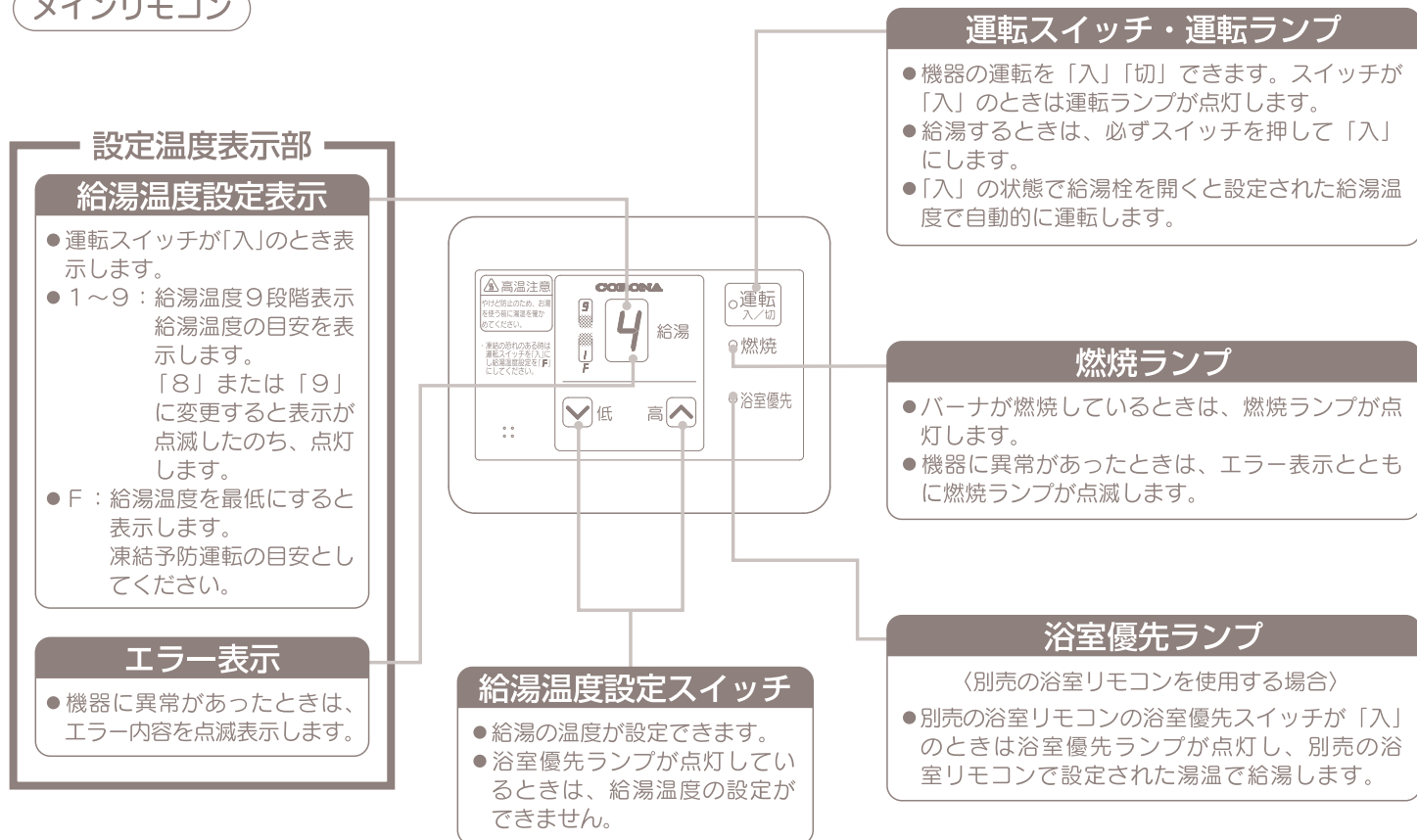


バーナ



リモコン

メインリモコン



3 使用前の準備

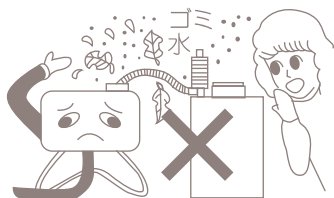
燃料

- **⚠警告** ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- 燃料は、灯油（JIS 1 号灯油）を必ず使用してください。
- 変質灯油、不純灯油は絶対に使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給油

■給油の際の注意

- 給油の際に、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、パナナの寿命低下などの原因になります。



■給油口ふたは、確実に締めてください。

■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- 油タンクを空にしないように注意してください。
- 油タンクが空になり給油したときは空気抜きが必要となります。

空気抜きの方法

- 油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの空気抜きねじをゆるめて送油経路内の空気を抜きます。
- オイルフィルタのカップ内に灯油を満たして、空気抜きねじを元通りに締め付けてください。



■灯油があふれたらきれいにふきとってください。

- 空気抜きねじ部のOリングをなくしたり、きずをつけたりすると油漏れとなり、使用できなくなりますので注意して取り扱ってください。特に、空気抜きねじを外しますとOリングがねじから外れ、紛失するおそれがありますので、空気抜きときはゆるめるだけで、外さないでください。

運転開始前の準備と確認

■給水および水漏れの確認

- 給湯栓から水を出してみて、熱交換器内に水が入っていることを確認してください。

■送油経路の油漏れの確認

ご注意

- 油タンクや送油管の接合部・給油コックなどから油漏れがないかどうか確認してください。

■電気配線の確認

- △注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。
- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

■機器の周囲確認

- △注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。
- △注意** 機器や排気口、吹出口、給気口を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。
(該当機種 A・S・S2・M・MS・AD・SD・MD・MSD)

■排気筒、給排気筒の確認（屋内設置機器）

- △警告** 排気筒、給排気筒（管、ホース）が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
(該当機種 F・FK・FF・FD・FDK)
- △警告** 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
(該当機種 FF)

■安全装置のリセット

- メインリモコンの運転スイッチを押して「切」にし、運転ランプの消灯を確認してから、運転スイッチを押し直してください。
※機器本体のプリント基板のリセットスイッチを押すことでもリセットできます。

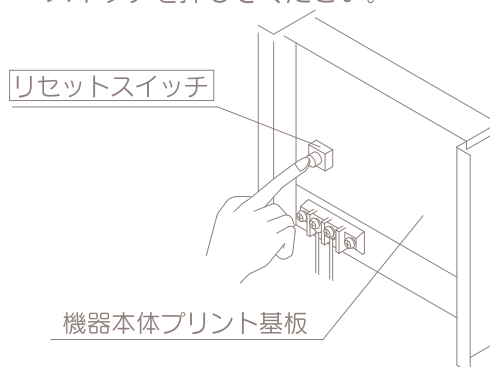


- メインリモコンの給湯温度表示部に「8」が点滅しているときは、空だきサーモスタットまたは圧力スイッチ（NX46HPタイプ）が作動しています。

■空だきサーモスタットのリセット方法

（NX46HPタイプは圧力スイッチのリセットもできます）

- 前扉をはずし、機器本体のプリント基板のリセットスイッチを押してください。



4 使用方法

はじめてお使いになる場合

- 工場出荷時の初期設定は下記のとおりです。

項 目	初期設定	設定方法参照ページ
給湯温度調節	4	7ページ

使用方法（給湯）

■給湯運転の方法

メインリモコンの  スイッチを押して「入」にします。



- 運転ランプが点灯します。
- 熱交換器内のお湯が設定温度より低いときには、バーナが燃焼しメインリモコンの燃焼ランプが点灯します。設定温度になると自動的に停止します。

■運転停止

お湯を長時間使用しないときや、外出するときは、メインリモコンの  スイッチを押して「切」にしてください。



- 運転ランプが消灯します。

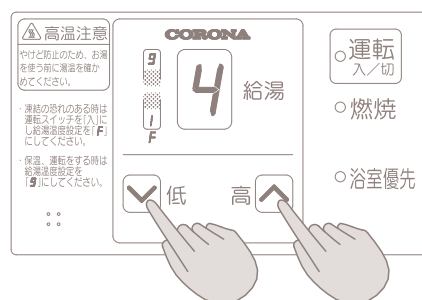
■給湯温度調節の方法

メインリモコンの  スイッチを押して「入」にします。



- 運転ランプが点灯します。

 低 高  を押すと給湯温度設定ができます。



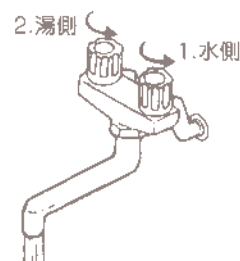
- 給湯温度設定を最高温度「9」にすると高温になり「1」にすると低温になります。
- リモコンの運転スイッチを「入」にしたままで給湯温度設定を「F」にすると熱交換器の凍結予防になります。（8ページをお読みください。）

■温度は、配管の長さや給水温（外気温）等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

給湯温度の目安

F	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	30°C			40°C		50°C	60°C	70°C	80°C

- 給湯温度設定は通常、最高温度「9」にして混合栓でお使いください。混合栓の水側を少し開いてから、湯側を開き適温にして使用します。
- 浴槽へ湯はりををするときは、給湯温度設定を「4」または「3」か「5」に合わせて、混合栓の湯側のみ開いてください。ほぼ適温の湯はりができます。
- 給湯量が多いと、給湯機の能力を超えるため、ぬるくなります。このときは、給湯量を少なくしてください。



ご注意

- 出始めの湯がぬるいことがあります。（特に給湯配管が長い場合や冬期の場合）しばらく待ってください。
- シャワーを使用中に、他の給湯栓で多量の使用、停止をすると、湯温の急激な変化が生じることがありますのでご注意ください。
- 給湯温度設定をさげて、湯側のみ（水を混合させない）で使用すると湯温変化が大きくなりますのでご注意ください。
- 熱交換器内や配管内の水は飲用または調理に用いないでください。
- 使用中に給水の元栓を閉じたりしないでください。

■シャワーの使い方

シャワーは、サーモ付混合栓をお使いください。

- サーモ付混合栓を使用する際は、給湯温度設定を「9」にし、混合栓を40℃前後のシャワーの適温に合わせてお使いください。
※給湯温度設定の「7」「8」でも使用できますが湯温変化がでるときは、最高温度「9」でお使いください。
- 右図のような2ハンドル混合栓のときは、給湯温度設定を「9」にし、混合栓の水側を少し開いてから湯側を少しずつ開き適温にして使用します。



ご注意

- **△注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- シャワー使用直後の再出湯時には、混合栓の特性で、一瞬熱い湯が出ることがありますので、湯温が安定してからお使いください。
- 他の給湯栓、給水栓が同時使用された場合は、給湯温度が変動することがありますのでご注意ください。

■給湯量と給湯温度の早見表

UIB-NX37P/UIB-NX46P

給湯温度 水 温	給湯量 (ℓ/分、計算値)		
	5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
40℃	14.8/18.6	20.7/26.0	34.4/43.3
50℃	11.5/14.5	14.8/18.6	20.7/26.0
60℃	9.4/11.8	11.5/14.5	14.8/18.6

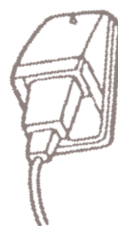
- 湯と水を混合した場合の給湯量の計算値です。
- 配管や給湯栓により給湯量は異なりますので目安としてください。

凍結予防

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。
- 凍結による修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。

凍結予防運転による方法 (通常の時)

- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。



電源プラグは抜かない

- ① 給湯栓は閉めたままにしておきます。
- ② メインリモコンの運転スイッチを「入」にします。
- ③ 給湯温度の設定を「F」にします。
冷え込みの厳しいときは「3」以上にします。（「F」で熱交換器内は約20℃に保たれます。）

- この方法は、熱交換器の凍結は予防できますが、機外の給水・給湯配管や減圧弁、逃し弁（内蔵形は除く）の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。

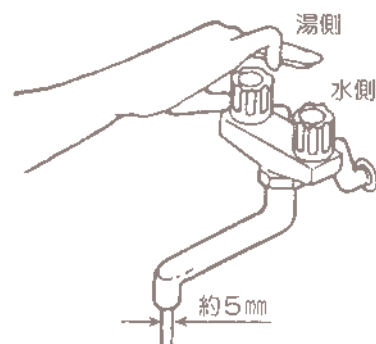
通水による方法 (異常寒波などのとき)

- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

- ①メインリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- ②給湯栓から1分間に400cc（給湯栓からの水の太さ約5mm）の水をだしてください。

※流量が不安定なことがありますので念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。



水抜きによる方法 (異常寒波などのとき・長期不在のとき)

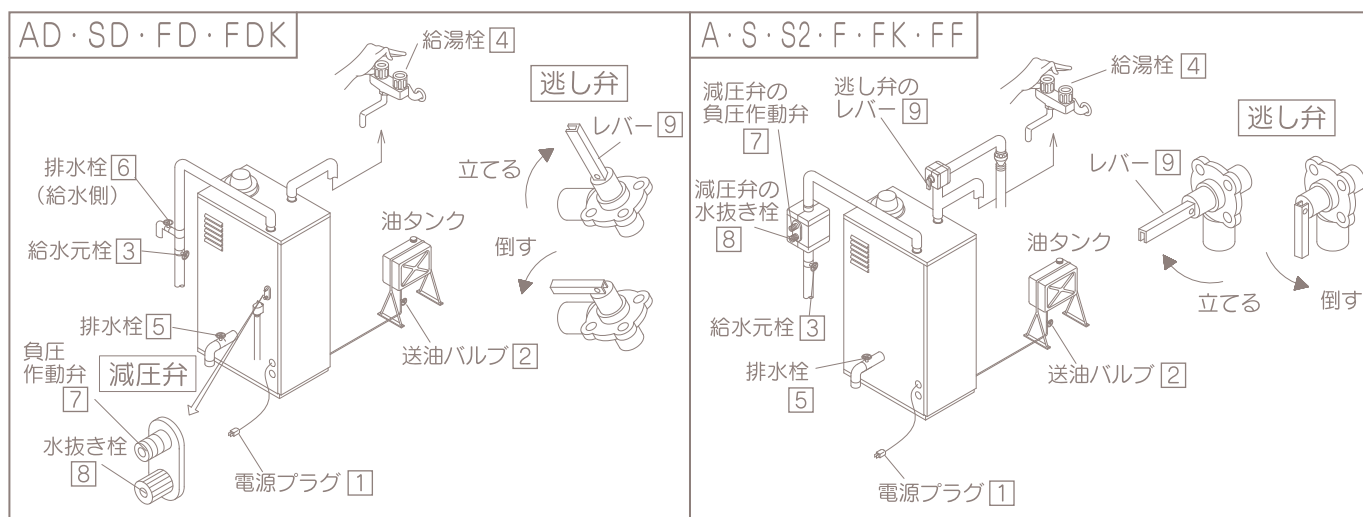
- 給湯運転直後は熱交換器内のお湯が高温になっていますので、冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。

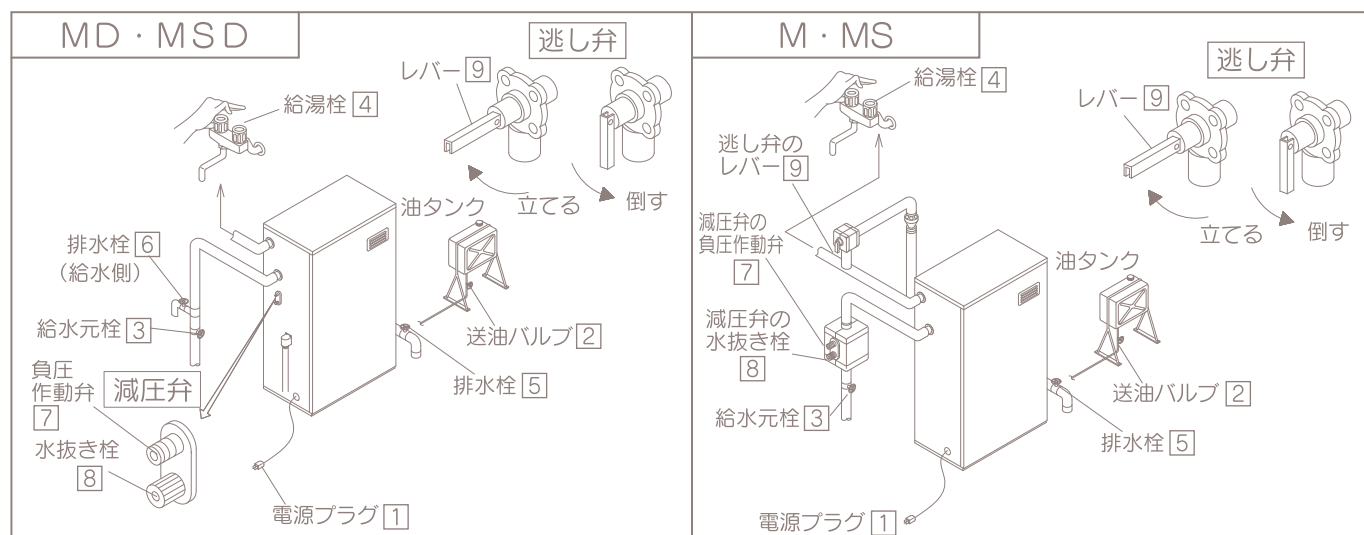
- ①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ②電源プラグ ① をコンセントから抜きます。
- ③油タンクの送油バルブ ② を閉めます。
- ④給水元栓 ③ を閉めます。
- ⑤全ての給湯栓 ④ を開きます。
- ⑥排水栓 ⑤ を開きます。
- ⑦排水栓 ⑥（給水側）を開きます。〔内蔵形 AD・SD・FD・FDK・MD・MSD〕
- ⑧減圧弁の負圧作動弁 ⑦を押します。
- ⑨減圧弁の水抜き栓 ⑧をゆるめます。
- ⑩逃し弁のレバー ⑨を立てます。〔内蔵形 AD・SD・FD・FDK・MD・MSDは前扉をあけます。〕
- ⑪排水栓 ⑤ から水が出なくなるのを確認後、逃し弁のレバー ⑨を倒します。
- ⑫前扉を閉めます。

●水抜き後再使用するとき

- ①排水栓 ⑤ を閉めます。
- ②排水栓 ⑥（給水側）を閉めます。〔内蔵形 AD・SD・FD・FDK・MD・MSD〕
- ③減圧弁の水抜き栓 ⑧を閉めます。
- ④給水元栓 ③を開き、全ての給湯栓 ④から水の出ることを確認します。
- ⑤全ての給湯栓 ④を閉めます。
- ⑥油タンクの送油バルブ ②を開きます。
- ⑦電源プラグ ①をコンセントに差し込みます。

以上の操作を行ってから使用してください。





凍結したときのご注意

- 給湯栓から水の出が悪いときは、凍結していますので運転を停止し溶けるのを待って水の流れが正常になってから運転してください。

使用上の注意

■やけどに注意

- ⚠注意** 燃焼中や消火直後は、高温部、排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップ、排気トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。

■みだりに飲用に用いないでください。

- 使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。なお、熱交換器や配管内にたまっていた水は飲用または調理に用いないでください。

■シャワーについて

- ⚠注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

■リモコンについて

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。急な温度変化や、熱湯でやけどのおそれがあります。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、次の処置をしてください。

- 水抜きを行ってください。（9ページの「水抜きによる方法」をお読みください。）
- 油タンクの送油バルブを閉めてください。
- リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

5 安全装置

対震自動消火装置

地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた場合、自動的に消火します。

エラー表示：2



- 地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、排気筒または給排気筒の外れなど異常がないことを確認してからリモコンの運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。

点火安全装置・燃焼制御装置

燃焼が完全に開始されないとき、または万一炎が立消えになったときは、炎検知器が感知して、バーナを停止します。

エラー表示：4



- 点火不良の原因を取り除き、リモコンの運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。

停電安全装置

停電したときや電源プラグが抜かれたとき、運転を停止します。



- 停電復帰後は、運転を開始します。使用しないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 長い停電のときは、停電復帰後に運転ランプが点滅します。このときは、運転スイッチを「入」にしてください。（S2タイプを除く）

過熱防止装置

温度調節回路に故障が発生し、湯温が異常に上昇した場合に運転を停止します。

エラー表示：7



- 使用を中止して販売店に連絡してください。

6 その他の装置

熱交換器過熱防止装置

熱交換器の温度が異常に上昇したとき、または、断水等により給水元圧が低い場合（UIB-NX46HPのみ）運転を停止します。

エラー表示：8



- 給水元栓を開き、熱交換器の水の有無を確認してください。水がなかったら熱交換器が十分冷えてから給水し、機器本体プリント基板のリセットスイッチを押してください。（6ページをお読みください。）
- 水があった場合は使用を中止して、販売店に連絡してください。

7 点検・手入れ

日常の点検・手入れ

■点検・手入れのときの注意

- リモコンの運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。

■点検、手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- ⚠注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買い上げの販売店に連絡してください。

4. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- ⚠注意** ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認し、ひび割れなどの異常があるときは交換してください。交換の目安は3年に一度です。

5. 油タンク（水抜きを含む。）（1ヵ月に1回以上）

- 油タンク内には、水・ゴミがたまりやすく、多くとまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

6. 排気筒、給排気筒の接続部のゆるみおよびトップの周囲（日常）

- ⚠警告** 排気筒、給排気筒（管、ホース）が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。（該当機種 F.FK.FF.FD.FDK）
- ⚠警告** 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。（該当機種 FF）
- 給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。（該当機種 FF）
- ⚠警告** 排気筒がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。（該当機種 F.FK.FD.FDK）

7. 水漏れ（日常）

- 機器本体および配管・継手部から水漏れがないか、確認してください。

8. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

- オイルフィルタに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

9. アース（日常）

- アース線がアース棒と機器の間に切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

10. 銅パイプ（送油管）の点検、交換の目安

- 銅パイプ（送油管）は年に一回以上点検し、変形、ひび割れがないか確認し、欠点のあるときは交換してください。

11. 熱交換器の清掃

- 年に一回以上は熱交換器内の水を排水してください。

熱交換器の清掃

- ①運転スイッチを「切」にします。
- ②給水元栓を閉じます。
- ③給湯栓を開きます。
- ④熱交換器の排水栓を開き、熱交換器内の水を排水してください。
- ⑤熱交換器内の水が排水されたら給水元栓を開いて、きれいな水を流してください。
- ⑥きれいな水が出るようになったら排水栓と給湯栓を閉じます。

12. リモコンの掃除について

- リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変色や変形する場合があります。

13. 排気トップ、吹出口の周囲（日常）

- 排気トップ、吹出口付近には囲い等はしないでください。
排ガスが再循環し、故障の原因になります。
（該当機種 A、S、S2、AD、SD、M、MS、MD、MSD）

定期点検（有料）

■定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。1年に1回程度、お買い上げ店または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

8 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- 万一具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- 原因のわからないときや処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

現 象	原 因	処 置 方 法
運転スイッチを入れても運転ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
	電源の元スイッチ(ブレーカ)が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にする。
	停電している。	通電するまで待つ。
運転ランプは点灯するが、給湯栓を開いてもお湯（水）が出てこない。	給水元栓が開いていない。	給水元栓を開く。
エラー表示「2」が点滅する。	「対震自動消火装置の作動」 地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。	地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、排気筒または給排気筒の外れなどの異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと再度「入」にする。
エラー表示「4」が点滅する。	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
	油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き(5ページをお読みください。)をしたのち、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
	上記の処置を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。	
エラー表示「8」が点滅する。	空だきサーモスタットが作動している。 断水等により給水元圧が低く圧力スイッチが作動している。 (UIB-NX46HPのみ)	給水元栓を開き、熱交換器に給水されているか確認する。そのあと、機器本体プリント基板のリセットスイッチを押してください。 (6ページをお読みください。)リセットできない場合は、使用を中止し販売店に連絡してください。
高温のお湯が出ない。	給湯量が多すぎる。	給湯量を少なくする。
低温のお湯が出ない。	給湯温度設定が適正でない。	給湯温度を再設定する。 (7ページをお読みください。)
燃焼音が異常。	販売店に連絡してください。 ⚠警告 ●このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止し販売店に連絡してください。	
ススを出して燃える。		
油漏れしている。		
排気筒、給排気筒が外れている。 (F.FK.FF.FD.FDK)		
水漏れしている。	販売店に連絡してください。 ⚠注意 ●このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止し販売店に連絡してください。	
アース線が切れている。 アースがない。		
燃焼時逃し弁（ホッパー）からお湯が出る。		
	お湯が出るのは、水からお湯になるときの膨張分で故障ではありません。 常時お湯（水）が出る場合は、使用を中止し販売店に連絡してください。	

モニターサインによる見分け方

- リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
- 販売店に連絡していただく際は、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。

エ ラ ー 表 示	処 置 方 法
■エラー表示して全停止のとき 2 地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた。（対震自動消火装置の作動） 4 不着火検知・途中消火・炎検知器故障 5 疑似火炎検知・炎検知器故障 6 缶体サーモスタ断線 7 缶体サーモスタ短絡・過熱防止装置の作動 8 空だきサーモスタット作動 圧力スイッチの作動（UIB-NX46HPのみ） H プリント基板異常 J 送風機回転異常	2 地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、など異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。 4 油切れの確認、他は販売店に連絡してください。 5 } 使用を中止して販売店に連絡してください。 6 } 7 } 8 給水を確認後、機器本体プリント基板のリセットスイッチを押してください。 リセットできない場合は使用を中止して、販売店に連絡してください。 H } 使用を中止して販売店に連絡してください。 J }
■燃焼ランプが点滅するが給湯運転可能のとき 給油検知の動作（別売品のOC-2取付時）	油タンク内の灯油が残り少なくなりました。早めに給油してください。

次の現象は故障ではありません

■給湯栓を開いてもすぐお湯がでない

機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯がでるまで少し時間がかかります。
熱交換器の水が沸き上がるのに1分ほど時間がかかります。

■燃焼時逃し弁（ホッパー）からお湯がでる

お湯がでるのは水からお湯になるときの膨脹分で故障ではありません。

■お湯の白濁

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。

■同時給湯したときの湯温変動

2カ所同時に給湯すると、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なり、湯温が変動することがあります。特にシャワーをご使用中に他の給湯栓で多量の給湯の使用、停止をすると湯温の急激な変化が生じることがありますので、ご注意ください。

■給湯栓開閉時の湯温変動

給湯栓を閉じて再び開いた時はぬるくなったり、熱くなったりすることがあります。

■排気口からの白煙（冬期）

冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変るため排気口から白煙となって出ることがあります。

■お湯を使っていないのに燃焼する

熱交換器のお湯の温度が設定温度より低いときには、バーナが燃焼します。
故障ではありません。

9 部品交換のしかた

- 部品交換は処理が難しいので、お買い上げになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会 修了者（石油機器技術管理士）などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

10 仕 様

型 式 の 呼 び			UIB－NX37P									
設置バリエーション			(AD) (SD)	(F D)	(F D K)	(F F)	(A) (S) (S2)	(F)	(F K)	(M) (MS)	(MD) (MSD)	
種	燃 焼 方 式		圧力噴霧式									
	給 排 気 方 式		屋外用開放形 屋内外用半密閉式強制排気形		屋内用半密閉式 強制排気形	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形 屋内外用半密閉式強制排気形		屋内用半密閉式 強制排気形	屋外用開放形		
	加 熱 形 態		貯湯式急速加熱形									
類	給 水 方 式		水道直結式			水道直結式（減圧弁・逃し弁の取付必要）又は、シスターン式					水道直結式	
	点 火 方 式		高電圧放電方式（ポストイグニッション方式）									
使 用 燃 料			灯油（JIS 1号灯油）									
燃 料 消 費 量			41.36kW（4.02L/h）									
連続給湯効率			87.5%									
連続給湯出力			36.2kW									
熱交換器容量			17.6L									
使用圧力（最高使用圧力）			0.1MPa									
伝 熱 面 積			0.9m²									
外 形 寸 法			高さ：845mm 幅：300（600）mm 奥行：530（300）mm ※（ ）内は（M）（MS）（MD）（MSD）									
質 量			29kg			28kg				31kg	32kg	
電源電圧及び周波数			100V 50Hz/60Hz									
定格消費電力	給湯使用	点火時 燃焼時	79/ 77W			89/ 88W	79/ 77W			80/ 78W		
			54/ 52W			64/ 63W	54/ 52W			55/ 53W		
待機時消費電力			2.0W									
排気筒の呼び径			—	φ 106mm			—		φ 106mm		—	
給排気筒の型式の呼び			—			QU8-3L	—					
給排気筒の呼び径			—			D80	—					
給排気筒の壁貫通部の穴径			—			φ 120mm	—					
排 気 温 度			260℃以下									
騒 音 レ ベ ル			48dB	46dB			48dB	46dB		50dB		
ノズル	噴 霧 量		1.2GPH									
	スプレーパターン		ダンフォース社のKHパターン									
	噴霧角度		60度									
電 流 ヒ ュ ー ズ			6A									
温 度 ヒ ュ ー ズ			99℃									
安 全 装 置			・ 対震自動消火装置 ・ 点火安全装置 ・ 燃焼制御装置 ・ 停電安全装置 ・ 過熱防止装置									
そ の 他 の 装 置			・ 熱交換器過熱防止装置									
附 属 品			・ 取扱説明書 ・ 工事説明書 ・ 木ねじ（メインリモコン取付用） ・ 所有者票									
			・ 排気トップ ・ φ8×2.5m銅パイプ ・ ゴムブッシュ ・ ホッパー ・ メインリモコン	・ 排気筒トップ ・ アルミテープ ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ ・ 排気筒接続口 ・ ホッパー ・ メインリモコン （但し、FDKは本体に取付）	・ 給排気筒セット ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ	・ 排気トップ（S2は別売） ・ φ8×2.5m銅パイプ ・ ゴムブッシュ ・ メインリモコン （但し、S2は本体に取付）	・ 排気筒トップ ・ アルミテープ ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ ・ 排気筒接続口 ・ メインリモコン （但し、FKは本体に取付）	・ φ8×2.5m銅パイプ ・ ホッパー（MD・MSD） ・ メインリモコン				

型 式 の 呼 び			UIB－NX46P								
設置バリエーション			(AD) (SD)	(F D)	(F D K)	(F F)	(A) (S) (S2)	(F)	(F K)	(MS)	(MD) (MSD)
種 類	燃 焼 方 式		圧力噴霧式								
	給 排 気 方 式		屋外用開放形 屋内外用半密閉式強制排気形		屋内用半密閉式 強制排気形	屋内用密閉式 強制給排気形	屋外用開放形 屋内外用半密閉式強制排気形		屋内用半密閉式 強制排気形	屋外用開放形	
	加 熱 形 態		貯湯式急速加熱形								
	給 水 方 式		水道直結式			水道直結式（減圧弁・逃し弁の取付必要）又は、シスターン式					水道直結式
点 火 方 式			高電圧放電方式（ポストイグニッション方式）								
使 用 燃 料			灯油（JIS 1号灯油）								
燃 料 消 費 量			52.06kW（5.06L/h）								
連続給湯効率			87.5%								
連続給湯出力			45.6kW								
熱交換器容量			16.7L								
使用圧力（最高使用圧力）			0.1MPa								
伝 熱 面 積			1.02m²								
外 形 寸 法			高さ：845mm 幅：300（600）mm 奥行：530（300）mm ※（ ）内は（MS）（MD）（MSD）								
質 量			30kg			29kg				31kg	32kg
電源電圧及び周波数			100V 50Hz/60Hz								
定格 消費 電力	給湯使用	点火時	94/ 93W			108/107W	94/ 93W			99/ 98W	
		燃焼時	68/ 67W			81/ 80W	68/ 67W			71/ 70W	
待機時消費電力			2.0W								
排気筒の呼び径			—	φ 106mm		—		φ 106mm		—	
給排気筒の型式の呼び			—			QU8-3L	—				
給排気筒の呼び径			—			D80	—				
給排気筒の壁貫通部の穴径			—			φ 120mm	—				
排 気 温 度			260℃以下								
騒 音 レ ベ ル			49dB							51dB	
ノズル	噴 霧 量		1.4GPH								
	スプレーパターン		ダンフォス社のKHパターン								
	噴霧角度		60度								
電 流 ヒ ュ ー ズ			6A								
温 度 ヒ ュ ー ズ			99℃								
安 全 装 置			・ 対震自動消火装置 ・ 点火安全装置 ・ 燃焼制御装置 ・ 停電安全装置 ・ 過熱防止装置								
そ の 他 の 装 置			・ 熱交換器過熱防止装置								
附 属 品			・ 取扱説明書 ・ 工事説明書 ・ 木ねじ（メインリモコン取付用） ・ 所有者票								
			・ 排気トップ ・ φ8×2.5m 銅パイプ ・ ゴムブッシュ ・ ホッパー ・ メインリモコン	・ 排気筒トップ ・ アルミテープ ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ ・ 排気筒接続口 ・ ホッパー ・ メインリモコン （但し、FDKは本体に取付）	・ 給排気筒セット ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ	・ 排気トップ （S2は別売） ・ φ8×2.5m 銅パイプ ・ ゴムブッシュ ・ メインリモコン （但し、S2は 本体に取付）	・ 排気筒トップ ・ アルミテープ ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ ・ 排気筒接続口 ・ メインリモコン （但し、FKは本体に取付）	・ φ8×2.5m銅パイプ ・ ホッパー（MD・MSD） ・ メインリモコン			

型 式 の 呼 び			UIB－NX46HP			
設置バリエーション			(SD)		(FD)	(MD) (MSD)
種 類	燃 焼 方 式		圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式		屋外用開放形		屋内用半密閉式強制排気形	屋外用開放形
	加 熱 形 態		貯湯式急速加熱形			
	給 水 方 式		水道直結式			
点 火 方 式			高電圧放電方式（ポストイグニッション方式）			
使 用 燃 料			灯油（JIS 1号灯油）			
燃 料 消 費 量			52.06kW（5.06L/h）			
連続給湯効率			87.5%			
連続給湯出力			45.6kW			
熱交換器容量			16.7L			
最 高 圧 力			0.2MPa			
伝 熱 面 積			1.02m²			
外 形 寸 法			高さ：845mm 幅：300（600）mm		奥行：530（300）mm ※（ ）内は（MD）（MSD）	
質 量			32kg			34kg
電源電圧及び周波数			100V 50Hz/60Hz			
定格消費電力	給湯使用	点火時 燃焼時	94/ 93W 68/ 67W			99/ 98W 71/ 70W
待機時消費電力			2.0W			
排気筒の呼び径			――		φ 106mm ―――	
排 気 温 度			260℃以下			
騒 音 レ ベ ル			49dB			51dB
ノズル	噴 霧 量		1.4GPH			
	スプレーパターン		ダンフォース社のKHパターン			
	噴霧角度		60度			
電 流 ヒューズ			6A			
温 度 ヒューズ			99℃			
安 全 装 置			・ 対震自動消火装置 ・ 点火安全装置 ・ 燃焼制御装置 ・ 停電安全装置 ・ 過熱防止装置			
そ の 他 の 装 置			・ 熱交換器過熱防止装置			
附 属 品			・ 取扱説明書 ・ 工事説明書		・ 木ねじ（メインリモコン取付用） ・ 所有者票	
			・ 排気トップ ・ φ8×2.5m銅パイプ ・ ゴムブッシュ ・ ホッパー ・ メインリモコン		・ 排気筒トップ ・ アルミテープ ・ ゴム製送油管 ・ 送油パイプ ・ ゴムブッシュ ・ 排気筒接続口 ・ ホッパー ・ メインリモコン	
			・ φ8×2.5m銅パイプ ・ ホッパー ・ メインリモコン			

11 アフターサービス

保証について

- この取扱説明書の最後に保証書がついています。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）
 - 変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - 誤った使用方法による故障や事故。
 - 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - 凍結による事故および破損。

修理を依頼されるとき

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - ①品名
 - ②型式の呼び
 - ③お買い上げ日
 - ④故障の状況（できるだけ具体的に）
- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または、この取扱説明書の裏表紙に記載されている「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■補修用性能部品について

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■故障・修理の際の連絡先

- お買い上げの販売店または、この取扱説明書の裏表紙に記載されている「お客様ご相談窓口」にご連絡ください。

12 据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行なわないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

試運転

試運転は販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

■熱交換器に水が入っていないときに運転スイッチを入れると空だきサーモスタットが作動することがありますので必ず給湯栓を開いて熱交換器に水が入っていることを確認してから電源プラグをコンセントに差しこんでください。

- 試運転終了後は、凍結予防のため「凍結予防」の項に従って処置してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、「凍結予防」の項に従って必ず水抜きを行ってください。（8～10ページをお読みください。）

運転準備（6ページもお読みください。）

- 給油及び送油経路の空気抜きをしてありますか。また、油漏れはありませんか。
- 給湯栓を開いて水が出ますか。（熱交換器の中に水が入っていますか。）また、配管に水漏れはありませんか。
- 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
- リモコンの機器への配線にまちがいはありませんか。

給湯運転 (7～8ページもお読みください。)

■運転開始手順

メインリモコンの  スイッチを押して「入」にします。



- 運転ランプが点灯します。
- 熱交換器内の水温が設定温度より低いときには、バーナが燃焼してメインリモコンの燃焼ランプが点灯します。設定温度になると自動的に停止します。

メインリモコンの燃焼ランプが消えてから、給湯栓を開きお湯がでるのを確認してください。

■初期運転時の異常現象

- 送油経路内の空気抜きが不十分ですとリモコンの給湯温度表示部に「4」が点滅表示することがあります。このときは送油経路内の空気抜きを行なってからリモコンの運転スイッチを入れ直してください。メインリモコンの給湯温度を「9」に設定し、給湯栓を全開にして5分以上運転し、送油経路内の空気抜きを十分に行なってください。

■正常運転の目安

- 熱交換機器の温度によって以後は自動運転となりバーナが燃焼しているときは、メインリモコンの燃焼ランプが点灯します。
- 排気筒トップ、給排気筒、排気トップ、吹出口からススが出ていないこと。
- 異常発煙、異常振動音がないこと。(初め白い煙が出ますがしばらくすると消えます。)
- 油漏れ、水漏れがないこと。

運転停止

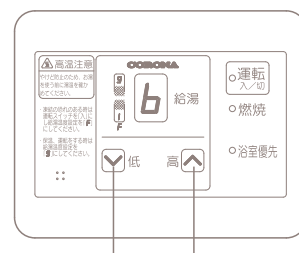
- リモコンの運転スイッチを押して「切」にします。

■オプション機能の設定方法

オプション機能でリモコンスイッチ操作時のブザー音の有無を設定できます。メインリモコンで操作します。

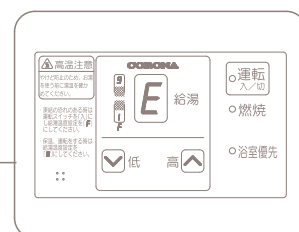
- ①  が「切」の状態にします。
- ②  低  同時に5秒以上押し続けます。給湯温度表示部に「b」が点滅します。
- ③ 「b」点滅表示中に  を押します。現在設定されている状態が表示されます。(初期値・・・「□」と「∇」が交互に点滅)
- ④  を押してリモコンスイッチ操作時のブザー音の有無を設定します。

有無	有	無
表示	「□」と「∇」が交互に点滅	——



設定の終了

- ⑤  低 を押して「E」にします。
- ⑥ 「E」点滅表示中に  を押すと設定完了です。給湯温度表示部の表示は消えます。





コロナ

無料修理保証書

品 番	コロナ石油小形給湯機 UIB-NX37P UIB-NX46P		
	コロナ高圧力型石油小形給湯機 UIB-NX46HP		
保証対象部分	保証期間	部品代	工料など
本 体	1 年	無 料	

- 本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
- お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがございますので、ご了承ください。

★お買い上げ日	平成 年 月 日
★お客様	ご芳名
	ご住所 〒 (-)
	電話 ()

★販売店	住所・店名
	電話 ()

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
《無料修理規定》をよくお読みください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧ください。
5. 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質（温泉水等）、指定外の使用電源（電圧、周波数）及び燃料、給水の供給事情による故障及び損傷
 - (ニ) 指定外の燃料、不純燃料の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 水垢もしくは凍結による故障及び損傷
 - (ト) 当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障及び損傷
 - (チ) 当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障及び損傷
 - (リ) 据付け工事の不備による故障及び損傷
 - (ヌ) 本書の提示がない場合
 - (ル) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター



0120-919-302
(修理受付専用ダイヤル)

FAX 0120-919-322

携帯電話・PHS等からは
最寄のサービスセンター
へ直接おかけください。

北海道地区	札幌サースター支店 札幌市東区南一条二丁目1-19 札幌市東区南一条二丁目6-25 函館市西条二丁目2-1 旭川市東旭川南一条二丁目2-5 帯広市西18条北1丁目17-1 釧路市花園町4-17 北見市美幌町9-1-30	〒003-0028 〒003-0873 〒041-0824 〒078-8261 〒080-0048 〒085-0038 〒090-0064	TEL(011)864-0440(代表) TEL(011)879-2121(代表) TEL(0138)48-6070(代表) TEL(0166)37-2330(代表) TEL(0155)35-7518(代表) TEL(0154)24-4191(代表) TEL(0157)26-2103(代表)	FAX(011)863-3154 FAX(011)871-2000 FAX(0138)48-6080 FAX(0166)37-2338 FAX(0155)35-7510 FAX(0154)24-0451 FAX(0157)26-2107
東北地区	青森サースター支店 青森市古館1丁目12-38 秋田サースター支店 秋田市中央4丁目4-18 秋田サースター支店 秋田市外旭川三千刈109-1 八戸サースター支店 八戸市市街4丁目4-7 弘前サースター支店 弘前市田園1-2-1 弘前サースター支店 弘前市田園1-2-1 盛岡サースター支店 盛岡市門2-1-42 盛岡サースター支店 盛岡市門2-1-42 水沢営業所 奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒030-0946 〒030-0946 〒010-0917 〒010-0802 〒031-0073 〒031-0073 〒036-8086 〒036-8086 〒020-0823 〒020-0823 〒020-0823 〒023-0002 〒983-0035 〒983-0035 〒963-8033 〒990-2423 〒998-0103	TEL(017)742-8255(代表) TEL(017)743-2971(代表) TEL(018)864-5671(代表) TEL(018)864-5219(代表) TEL(0178)24-5289(代表) TEL(0178)47-6609(代表) TEL(0172)28-3910(代表) TEL(0172)26-4770(代表) TEL(019)622-4791(代表) TEL(019)604-0281(代表) TEL(0197)22-4155(代表)	FAX(017)742-8275 FAX(017)743-1118 FAX(018)864-8468 FAX(018)864-5760 FAX(0178)45-4290 FAX(0178)71-1344 FAX(0172)28-0191 FAX(0172)29-1133 FAX(019)622-5244 FAX(019)604-0283 FAX(0197)22-4452
関東地区	首都圏サースター支店 東京都中央区銀座4-8 東京都中央区銀座4-8 東京都中央区銀座4-8 立川市高松町1-22-3 松戸市高塚新田95-5 横浜市戸塚区原宿4丁目7-13 山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2 さいたま市北区宮原町1-674-2 さいたま市北区宮原町1-674-2 高崎市問屋町西1-3-22 宇都宮市薬師町2313 太田市高林東町2375 水戸市笠原町653-2 つくば市谷田部6788-19	〒114-0003 〒114-0003 〒114-0003 〒190-0011 〒270-2222 〒245-0063 〒409-3866 〒331-0812 〒331-0812 〒370-0007 〒321-0933 〒373-0825 〒310-0852 〒305-0861	TEL(03)3927-1151(代表) TEL(03)3911-1131(代表) TEL(03)3927-1152(代表) TEL(042)519-5271(代表) TEL(047)312-8330(代表) TEL(045)852-4008(代表) TEL(055)268-1567(代表) TEL(048)651-1722(代表) TEL(048)651-1231(代表) TEL(027)361-4806(代表) TEL(028)632-5105(代表) TEL(0276)38-6571(代表) TEL(029)241-2172(代表) TEL(029)839-5325(代表)	FAX(03)3927-1160 FAX(03)3927-1130 FAX(03)3927-1160 FAX(042)528-2382 FAX(047)312-8338 FAX(045)852-5540 FAX(055)268-1569 FAX(048)651-6370 FAX(048)651-6370 FAX(027)361-9139 FAX(028)632-5205 FAX(0276)38-5508 FAX(029)241-4268 FAX(029)836-1913
信越・北陸地区	新潟サースター支店 新潟市東区江南1-6-41 新潟市東区江南1-6-41 新潟市東区江南1-6-41 新潟市東区江南1-6-41 金沢サースター支店 金沢市西新町1-1-25 金沢市西新町1-1-25 富山市中町2-3-15 富井市和町東1-607	〒955-0864 〒955-0864 〒950-0855 〒381-0022 〒399-0033 〒920-0027 〒920-0027 〒930-0985 〒918-8237	TEL(0256)32-2126(代表) TEL(0256)32-2129(代表) TEL(025)286-9131(代表) TEL(026)221-5111(代表) TEL(0263)26-0051(代表) TEL(076)260-0567(代表) TEL(076)260-0038(代表) TEL(076)444-0567(代表) TEL(0776)23-0567(代表)	FAX(0256)35-8519 FAX(0256)32-2137 FAX(025)286-3313 FAX(026)221-0039 FAX(0263)25-9961 FAX(076)260-0775 FAX(076)260-0738 FAX(076)444-0611 FAX(0776)23-0580
東海地区	名古屋サースター支店 名古屋市熱田区桜田町16-11 名古屋市熱田区桜田町16-11 静岡市駿河区高松2-15-30 岐阜市六条南2-7-8 津市高茶屋3-29-38 沼津市西権路888-1	〒456-0004 〒456-0004 〒422-8034 〒500-8358 〒514-0819 〒410-0303	TEL(052)746-6600(代表) TEL(052)746-6603(代表) TEL(054)238-0005(代表) TEL(058)268-7555(代表) TEL(059)234-8471(代表) TEL(055)968-6210(代表)	FAX(052)884-6551 FAX(052)884-6554 FAX(054)238-0006 FAX(058)268-7550 FAX(059)234-8472 FAX(055)968-6212
近畿・四国地区	大阪サースター支店 吹田市南金田1-8-47 吹田市南金田1-8-47 高松市今里町1-8-5 京都市伏見区竹田段ノ川原町70-1 神戸市西区枝吉5-132 彦根市正法寺町南出78 福知山市荒河東町68	〒564-0044 〒564-0044 〒760-0078 〒612-8414 〒651-2133 〒522-0024 〒620-0061	TEL(06)6380-2111(代表) TEL(06)6386-5670(代表) TEL(087)835-1711(代表) TEL(075)643-2002(代表) TEL(078)922-2431(代表) TEL(0749)24-6239(代表) TEL(0773)22-0827(代表)	FAX(06)6386-7262 FAX(06)6386-5588 FAX(087)835-0160 FAX(075)643-0870 FAX(078)922-2438 FAX(0749)26-2116 FAX(0773)23-7592
中国地区	広島サースター支店 広島市安佐南区祇園3-27-20 広島市安佐南区祇園3-27-20 岡山市辰巳35-103 米子市日久美町235-1 周南市徳山寺ノ井手5631-4	〒731-0138 〒731-0138 〒700-0976 〒683-0035 〒745-0882	TEL(082)871-3310(代表) TEL(082)871-3315(代表) TEL(086)243-7751(代表) TEL(0859)33-8157(代表) TEL(0834)22-5567(代表)	FAX(082)871-3306 FAX(082)871-0272 FAX(086)243-7191 FAX(0859)23-0709 FAX(0834)22-5589
九州地区	福岡サースター支店 福岡市博多区東比恵2-2-40 福岡市博多区東比恵2-2-40 北九州市小倉北区愛宕2-6-4 鹿児島市市上7-16-5 熊本市尾ノ上1-11-12 長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1 宮崎県西郷3-59-2 大分市三佐1-19-7	〒812-0007 〒812-0007 〒803-0828 〒890-0034 〒862-0913 〒851-2106 〒880-0032 〒870-0108	TEL(092)474-5771(代表) TEL(092)474-6001(代表) TEL(093)592-8611(代表) TEL(099)281-1321(代表) TEL(096)367-7361(代表) TEL(095)882-7710(代表) TEL(0985)29-1680(代表) TEL(097)523-5161(代表)	FAX(092)474-5775 FAX(092)474-6414 FAX(093)592-8666 FAX(099)281-1252 FAX(096)369-6323 FAX(095)882-7767 FAX(0985)25-0685 FAX(097)523-5162
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227 TEL(098)897-5677(代表)	FAX(098)897-5679

26098002

本社・工場
柏崎工場
長岡工場

三条市東新保7-7
柏崎市宝町2-58
長岡市下条町倉ノ浦1069

〒955-8510 TEL(0256)32-2111(大代表)
〒945-0817 TEL(0257)23-5175(代表)
〒940-1146 TEL(0258)22-2121(代表)